

PRESENT

アンケートに答えてプレゼントをGETしよう!

応募期間
11/1~11/30

A いたづら工作室
シルバーリング(11号)



1名様

シンプルで
どんなファッションにも
合わせやすい

7、14ページで紹介したいたづら工作室の「シルバーリング(11号)」を1名様にプレゼント!

B トルコらんぶ工房HAPPY
トルコランプ スタンドライト



1名様

別冊PALETTE
掲載予定!

イメージ

11ページで紹介した別冊PALETTEに掲載予定のトルコらんぶ工房HAPPYの「トルコランプ スタンドライト」を1名様にプレゼント!

C 秩父鉄道
C58布マスク(黒・L)と
SL転車台公園オープン
記念マスクケースのセット



5名様

「C58布マスク(黒・L)」と、10ページで紹介した「SL転車台公園オープン記念マスクケース」のセットを5名様にプレゼント!

秩父鉄道ホームページ内の
応募フォームからお申し込みください。

秩父鉄道 検索 または



当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、重複応募は無効とさせていただきます。※皆様の個人情報は、個人が特定できない範囲での統計データ作成・プレゼント当選時の発送の連絡のみに利用します。ご本人の承諾なく上記目的以外に個人情報を利用又は第三者に提供することはありません。なお、賞品発送業務は㈱コアに委託をしています。また、賞品の発送は提供元からお送りすることもあります。

秩父鉄道
公式アカウント

旬な情報を配信中!
お出かけ前に
チェックしてみてください

@paleo_palena

@chichibu_railway

YouTube

秩父鉄道公式チャンネル

編 | 集 | 後 | 記 |

今月号の「サイクルトレイン」ってご存知でしたでしょうか?ホームで自転車と一緒に電車を待つ光景は秩父鉄道ならではの!ぜひ「サイクルトレイン」を上手に使用して、あなたの旅を探してみてください。次号は、みんな大好きな「あの揚げ物」を特集します。なんだろう??では是非またお付き合いいただければと思います。



今月号の表紙: 三峰口駅

3つのおトクなプランでちちぶをマツキツ!

1 秩父鉄道全線1日フリーきっぷ + 長瀬ラインくだり

通常価格の約20%おトク!
WEB予約限定で発売!
おトクなセット券で秩父へおでかけしよう!

発売対象期間 8月1日(土)~11月30日(日)

セット内容 ●秩父鉄道全線1日フリーきっぷ 1枚
●長瀬ラインくだり 乗船券1枚(AまたはBコース)

購入方法 秩父鉄道HPからWEB予約後、乗車日当日に指定駅にて受取

乗車日の2週間~2日前までWEB予約受付

セット料金 大人(中学生以上)2,500円(通常価格3,270円)
小児(小学生) 1,300円(通常価格1,640円)

お問合せ 秩父観光興業株式会社 ツアーセンター
048-525-3701



ちちぶへ
おでかけ
キャンペーン

Let's Go Chichibu!

※詳しくは、秩父鉄道HPをご覧ください

2 家族でリフレッシュながとろ

宝登山ロープウェイ・宝登山小動物園の
こども料金無料

期間 10・11月の土休日

対象施設 宝登山小動物園、宝登山ロープウェイ
※大人1名に対し同伴するお子さまは2名まで無料招待となります

お問合せ 秩父鉄道 観光事業課 048-523-3312(平日9:00~17:00)
宝登山ロープウェイ山麓駅 0494-66-0258(9:30~17:00)

3 ながとろの川と山どっちも割

長瀬ラインくだりまたは宝登山ロープウェイ窓口にて、
どちらの券も購入すると割引価格にて発売!
おトクに長瀬の川も山も楽しもう!

発売期間 9月1日(土)~12月4日(日) 9:00~12:00

セット内容 ●長瀬ラインくだり 乗船券1枚(AまたはBコース)
●宝登山ロープウェイ 往復乗車券1枚

セット料金 大人(中学生以上)2,350円(通常価格2,630円)
小児(3歳以上) 1,230円(通常価格1,320円)

お問合せ 秩父鉄道 観光事業課 048-523-3312(平日9:00~17:00)
宝登山ロープウェイ山麓駅 0494-66-0258(9:30~17:00)

当日発売・
予約不要

◆ 金属工芸家であり、

「地元作家たちのitadururroom GALLERY SHOP」と

「いたづら工作室」のオーナーである宮窪 澄恵さんにインタビュー!

きりり ストーリー

第36回

沿線でかがやきつづける方に
インタビュー!

宮窪 澄恵さん

(地元作家たちのitadururroom GALLERY SHOP/いたづら工作室 オーナー)



◎詳細は、7ページで紹介しています

遠くからも観光客が訪れる人気スポットになっている。
「ここは、家族で昔よく訪れていた千葉の『いたづら工作室』という場所が原点なんです。そこは一日中、子どもが工作で遊べて、私は寝ながら、夫はパソコンをいじりながらのんびり過ごすことができる素敵な場所でした。今でもオーナーの方と交流があるのですが、私も秩父でそんな場所を作りたい、と思っています。すぐ近くには河原もあるのですが、作品づくりに飽きたら川に遊びに行ってもいいし、お弁当やお菓子を広げてのんびり過ごすのもいい。忙しい日常の生活から離れて、楽しい時間をぜひ過ごしてください!」

彫金から始まったものづくりの世界
「カンカン」と、金槌を叩きながら指輪の大きさを広げ、均一な幅や厚さになるように仕上げていく。シルバーアクセサリー作りは頭を空っぽにして、手元だけに集中できる心地よい時間だ。「そうそう、上手。次は磨く工程に入りましょう」教えてくれるのは、金属工芸家の宮窪 澄恵さん。「いたづら工作室」では、彫金道具を使ったシルバーアクセサリー作りづくりのほか、木工細工やとんぼ玉、篆刻といったさまざまなジャンルの作品づくりを体験することができ

地域の人との交流の場や
地元作家を応援する場所に
そんな折にふつと湧き上がったのが「自分のアトリエを持ちたい!」という思い。宮窪さんの子どもたちも自然の中で思い切り遊ぶ生活に憧れていたこともあり、2000年に東京都板橋区から秩父市へと、一家で移住することにしたのだという。
「はじめは個人工房としてやっていたのですが、地域の人との交流の場になればと思って、いたづら工作室を

始めたんです。当時は、木工や布小物などそれぞれ自分が得意な分野で、毎回誰かが先生になって教える、そんなスタイルでした。
2016年には、「秩父手しごと衆 YOSAGE」という地元の職人集団に入ったことにより、クリエイターたちとの交流も活発に。自分の作品も含めてもっと地元作家の作品を知ってもらいたい、との思いから昨年「地元作家たちのitadururroom GALLERY SHOP」をオープンすることになった。
日常を忘れてゆつくりと
過ごしてほしい
地元の人たちとの交流場所として始まった「いたづら工作室」だが、高齢化の波もあり、現在、指導は宮窪さんが一人で行うようになってしまったが、



宮窪さんのシルバー作品 イヤリングはご自身の結婚式に身に付けられたもの